

# 「ICTを活用した施設点検・計測の支援」

## 設定テーマ1 - ①

### ICTを活用し、舗装の路面性状調査を安価で正確に行うことが可能な技術

【提案所属】県庁道路保全課

#### ニーズの概要

- 平成29年3月に改定した本県の「社会資本長寿命化計画舗装ガイドライン（以下、ガイドライン）」において、路面性状調査を大型車交通量N 5以上で2回／5年、N 4以下で1回／年測定する計画となっているが、県管理道路の舗装延長は約2,780kmあり、調査に多額の費用を要する。
- ガイドラインでは小型乗用車クラスの大きさの測定車の開発により、調査費が抑制されているが、更なる効率化等によるコスト縮減が可能となる技術を求めている。

（例：ひびわれ調査）

- ひび割れ調査はカメラで取得したひび割れ画像を目視にて解析しており、調査に係る費用、時間が大きいとともに、個人差による解析結果にばらつきが生じている。

#### 期待するシーズ

- AIなどを活用し、ひび割れの解析を自動に行う技術が開発されれば、作業効率の向上による経費削減が期待できる。